



狭角・中角・広角の合計5台の投光器を組み合わせることで、均斉度の高いライトアップが実現されている

高知城

KOCHI CASTLE

おもてなしの灯りが 高知のランドマークを彩る

高知県を訪れる観光客は10年間で大幅に増え、外国人観光客の宿泊数も増加。県では「戦略的な観光地づくり」と「国際観光のさらなる推進」に力を入れて取り組んでいる。その一環とも言えるのが市中心部にある高知城のライトアップ。土佐藩の初代藩主である山内一豊が慶長6年（1601年）に築城を始め、完成までに10年を要した高知城は、城下町の大火で城郭のほとんどを焼失したが、宝暦3年（1753年）に再建。外観四重（内部3層6階）高さ18.5mの望楼型天守は創建当時の様式が踏襲されている。

国の重要文化財に指定されている高知城では、春夏秋冬のお城祭りなど四季を通じた夜間イベントが催され、夜の幻想的な姿は日本三大夜城としても知られている。その夜城をより多彩な色で美しく浮かび上がらせるとともに、省エネと運用の省力化を図るため、照明設備のLED化が実施された。HIDランプ1kW投光器に代わってハイパワーのLEDフルカラー投光器「ダイナペインター」5台を導入。イベントごとに職員が手作業で差し替えていた各器具のカラーフィルター作業は、無線によるDMX信号にすることで、より多彩な光の再現が可能になり、省力化を実現。夜の高知観光にさらなる魅力を加えている。



高知城

所在地 / 高知県高知市
主催 / 高知県
電気工事 / 株式会社片岡電気工事
リニューアル / 2017年11月



春・秋のデフォルトカラーの白色



「世界糖尿病デー」のブルー、「ピンクリボン運動」のピンク、緑内障「ライトアップ in グリーン運動」の緑



三ノ丸(左)と二ノ丸(中)本丸(右)に設置された投光器

演出シーンの動画が
ご覧いただけます



主な設備

- LEDフルカラー投光器「ダイナペインター-6」
- LEDカラー制御盤